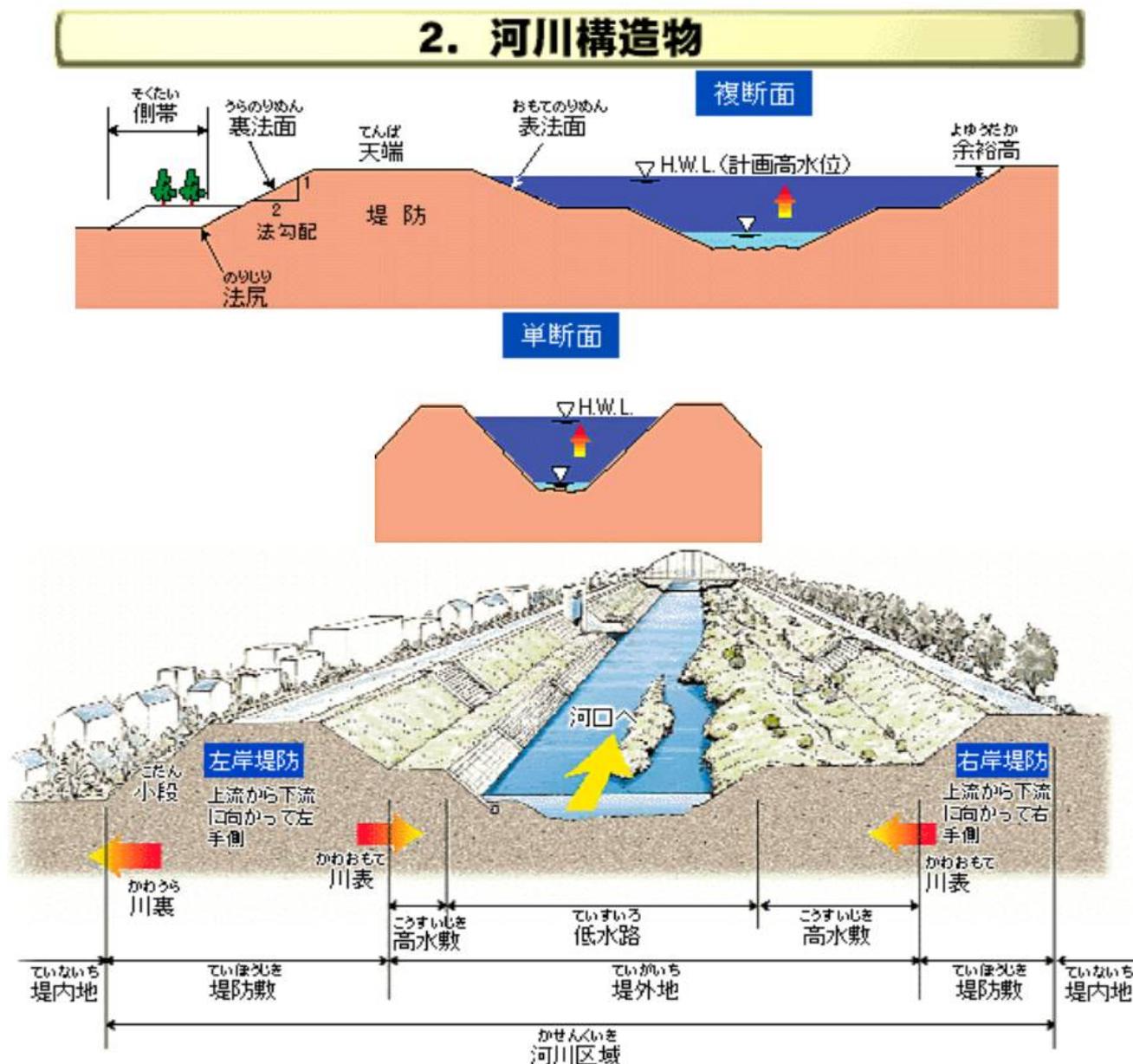


<主な河川に関する用語 - 国土交通省水管理・国土保全局>



堤防

河川では、計画高水位以下の水位の流水を安全に流下させることを目的として、山に接する場合などを除き、左右岸に築造されます。構造は、ほとんどの場合、盛土によりますが、特別な事情がある場合、コンクリートや鋼矢板(鉄を板状にしたもの)などで築造されることもあります。

右岸(うがん)、左岸(さがん)

河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼びます。

河川区域

河川区域は洪水など災害の発生を防止するために必要な区域であり、河川法が適用される区域です。

【河川管理者の許可が必要な行為】

- (1) 河川区域内の土地を占用する場合 (河川法第24条)
- (2) 河川区域内で工作物の新築・改築・除却をする場合 (河川法第26条第1項)
- (3) 河川区域内で土地の掘削、盛土等の形状変更をする場合 (河川法第27条第1項)

計画規模

洪水を防ぐための計画を作成するとき、対象となる地域の洪水に対する安全の度合い(治水安全度と呼ぶ)を表すもので、この計画の目標とする値です。一級河川の主要区間の計画規模は1/100~1/200、言いかえるなら、平均して100年~200年に一度の割合で発生する洪水流量を目標に整備されています。

基本高水のピーク流量(きほんこうすいのピークリゅうりょう)

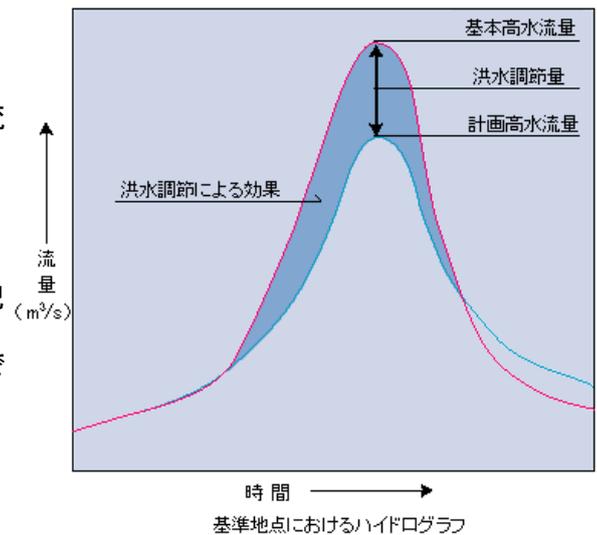
基本高水は、洪水を防ぐための計画で基準とする洪水のハイドログラフ(流量が時間的に変化する様子を表したグラフ)です。この基本高水は、人工的な施設で洪水調節が行われていない状態、言いかえるなら流域に降った計画規模の降雨がそのまま河川に流れ出た場合の河川流量を表現しています。基本高水流量は、このグラフに示される最大流量から決定された流量の値です。

洪水調節量

人工的に建設した洪水調節用ダム、調節池、遊水地などに一時的に洪水流量の一部分を貯めることによって、下流の河道に流れる流量を減少させる(調節)ことができます。洪水調節量は、この減少した(調節した)分の流量のことです。

計画高水流量(けいかくこうすいりゅうりょう)

計画高水流量は、河道を設計する場合に基本となる流量で、基本高水を河道と各種洪水調節施設に合理的に配分した結果として求められる河道を流れる流量です。言いかえればこれは、基本高水流量から各種洪水調節施設での洪水調節量を差し引いた流量です。



計画高水位(けいかくこうすい)

計画高水位は、計画高水流量が河川改修後の河道断面(計画断面)を流下するときの水位です。

計画余裕高(けいかくよゆうだか)、計画堤防余裕高(けいかくていぼうよゆうだか)

堤防の高さを決める際に異常出水や波浪などを予想して、計画高水位以上に適当な余裕を見込んだ高さをいう。

計画堤防高(けいかくていぼうだか)

河川整備計画において設定される堤防の高さで、計画高水位に余裕高を加えたもの。

床止め(とどめ)・床固め(とこがため)

河床の洗掘を防いで河川の勾配(上流から下流に向かっての川底の勾配)を安定させるために、河川を横断して設けられる施設です。